



グリーン・トランスフォーメーション・イニシアティブ (Science Tokyo GXI)
Green Transformation Initiative, Science Tokyo GXI

Science Tokyo GXI 2026 年度

第 2 回セミナー・第 1 回テックミーティング (第 3 報)

「森林 GX と建物・環境 GX による資源利用と CO₂ 排出削減の最前線」

日時 : 2026 年 6 月 3 日(水) 13:30~17:40

会場 : 東京科学大学 大岡山キャンパス 北 3 号館(EEI 棟)1 階多目的ホール+ Zoom (地図添付)

登録 : 現地会場参加、Zoom 参加ともに、以下 URL から事前登録が必要です (セミナー、テックミーティング共通)。

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/I7NegakwQ4G6XupjLZCMjg>

主催 : Science Tokyo GXI、後援 : GX Frontier VI

プログラム

第 1 部 GXI セミナー ※GXI 会員、本学教職員、本学学生限定

司会 : 田中 寛 総合研究院化学生命科学研究所 教授

13:30~13:45 趣旨説明 加藤 之貴 総合研究院ゼロカーボンエネルギー研究所 所長・教授 GXI 統括 (15 分)

13:45~14:20 森林 GX 基調講演 日本製紙株式会社 (25 分発表+10 分 Q&A)

「国内森林資源のポテンシャルとその活用に向けた課題について」

太刀川 寛 原材料本部 グリーン戦略推進部長

14:20~14:25 総括コメント 浜島直子 環境省 大臣官房 地域脱炭素政策調整担当参事官 (5 分)

休憩 15 分間 (コーヒーブレイク)

第 2 部 GXI テックミーティング ※GXI 会員および本学教職員限定、学生は参加不可

14:40~14:45 開会挨拶 村上 陽一 総合研究院ゼロカーボンエネルギー研究所 教授 GXI 副統括 (5 分)

14:45~15:05 建物・環境 GX 講演 1 鹿島建設株式会社 (15 分発表+5 分 Q&A) ※以下、企業名五十音順

「PVC 膜を型枠利用した吹付けコンクリートによる CO₂ 吸収型の鉄筋コンクリート造シェルドーム構造物について」

閑田 徹志 技術研究所 副所長

15:05~15:25 建物・環境 GX 講演 2 清水建設株式会社 (15 分発表+5 分 Q&A)

「ZEB 最適設計ツール「ZEB SEEKER」の開発と脱炭素コンサルティング～運用時 CO₂排出量削減の最適化～」

太田 望 設計本部 環境ソリューション部 グループ長

15:25~15:45 建物・環境 GX 講演 3 大成建設株式会社 (15 分発表+5 分 Q&A)

「脱炭素社会を切り拓く - ゼロエネルギーファクトリー-ZEF への挑戦 ~OKI 本庄工場 H1 棟での事例～」

信藤 邦太 設計本部・シニアエンジニア

15:45~16:05 建物・環境 GX 講演 4 東急建設株式会社 (15 分発表+5 分 Q&A)

「建築物 CO₂ 算定の課題と現状 ~低炭素建材プラットフォーム「CMCOS (コムコス)」の運用～」

加藤 晃敏 建築事業本部 技術統括部 建築技術部 仕上環境 G グループリーダー

16:05~16:25 建物・環境 GX 講演 5 前田建設工業株式会社 (15 分発表+5 分 Q&A)

「低炭素建築実現に向けた包括的な取組～木造・木質化「木で建ててみよう@」から CO₂ 全件算出まで～」

綱川 隆司 建築事業本部 設計戦略部・部長

16:25~17:05 パネルディスカッション モデレーター : 村上 陽一 教授 GXI 副統括 (40 分)

日本製紙(株)、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、東急建設(株)、前田建設工業(株)

17:05~17:10 閉会コメント 加藤 之貴 総合研究院ゼロカーボンエネルギー研究所 所長・教授 GXI 統括 (5 分)

17:10~17:40 ネットワーキング、名刺交換 (30 分)



【GXII セミナー 森林 GX 基調講演 講演概要】

「国内森林資源のポテンシャルとその活用に向けた課題について」

日本製紙株式会社 原材料本部 グリーン戦略推進部長 太刀川 寛

昨今の国際情勢もあり、国内の森林資源が脚光を浴びている。実際、国内森林の蓄積材積は膨大で、量的には国内の木材需要を賄って余りあるが、現状ではこの資源を十分活用できているとは言い難い。一方で、林業の活性化・成長産業化が言われて久しいが、今後予想される木材需要の減少を含め、抱える課題は重層的かつ多岐に渡るため、その解決は容易でない。今回は、資源としての国内森林のポテンシャルを示すとともに、林業の抱える課題の一端を紹介し、この解決に向けた幅広いご意見を頂きたい。

セミナー、テックミーティングともに GXII 会員は参加人数に制限はございません。お手数ですが、御社内・貴団体内に広くご案内、ご周知を頂けるようお願い申し上げます。ご登録頂いている関係会社の方もご参加可能です。

【お問い合わせ先】 東京科学大学 GXII 事務局 E-mail: office@gxi.iir.isct.ac.jp Tel : 03-5734-3284